

令和元年度第3回外部評価委員会での主な意見

令和元年 11 月 8 日(金)13:30～15:00

市役所 4 階大会議室

議 事

●前期事業実施計画の成果について

人々がかがやくまち中津川

○学校教育

- ・リニア関連事業予算を大幅に取っているが、その結果、福岡小学校統廃合など他の大型事業に遅れが生じないように進めてほしい。

○幼児教育

- ・今年 10 月から幼児教育・保育の無償化がスタートしたが、私立が無料になると、私立に入園させたい親がかなり増えてきて、幼稚園・保育園の立地で地域差が発生するのではないか。今後、園の合併、効率化を考える上で、無償化による公立、私立の入園希望の差を考慮した計画にすべきだと思う。
- ・小学校、中学校は幼児教育時の人数を元に、適正化が進められるが、幼児教育の適正化はリアルタイムで数を把握して、対応をしていく必要があると思う。
- ・全国的に自然保育の取り組みが活発であり、中津川市も先進事例から良いものを取り入れていくことが必要だと思う。
- ・入園希望数に合わせて、柔軟に受け入れ数を対応できるようにしていけると良いと思う。

○少子化対策・子育て支援

- ・カウンセリングを充実させてほしい。子育ての悩みを同じ地域の人に相談することは、プライバシーの問題もあるので難しいと思う。各地域に相談窓口を作っていくのであれば、在住でない地区の窓口でも相談できると良いと思う。

○地域医療・公立病院

- ・地域医療施策について、医師不足の対策が明記されていないので、医師の地域巡回などの具体的な対策を取り入れてほしい。

○高齢者福祉

- ・「いきがいきづくり」を重視して、コミュニティ形成に対する補助を行うべきだと思う。

○障がい者福祉

- ・最近、「農福連携」が話題になっており、障がい者の農業分野での活躍が広がっている。現在の障がい者福祉の状況がわからないので、説明会や情報共有をして欲しい。
- ・障がい者を年間通して、受け入れることは難しいが、時期によっては対応できる仕事があると思う。
- 地域コミュニティ
 - ・今後、コミュニティ形成を推進する上で、住民同士コミュニケーションツールとして SNS、インターネットの有効な活用が重要になると思う。
- 地域公共交通
 - ・民間業者を阻害しない形で、例えば「ウーバー」のような最新の仕組みを導入し、新たな雇用を生み出すことができれば、地域にも受け入れられると思う。
- 生涯学習・読書推進・スポーツ振興
 - ・有償ボランティア・講師を活用した方が質の高い内容になり、興味関心を持つきっかけになると思う。
 - ・苗木交流センターは利用者数が伸びているが、今後の具体的な展開を計画に組み込めると良いと思う。
- 歴史・文化
 - ・苗木城跡は来場者数が伸びているが、今後の具体的な展開を計画に組み込めると良いと思う。
 - ・歴史文化の施策については、今後図書館機能を持った新しい施設に集約していったほしい。苗木城跡では VR を活用して、当時を再現した映像が見られるようにしてみてもどうか。

やすらぐ自然につつまれたまち中津川

- 防災・減災
 - ・中津川市は近年、大きな災害被害が発生していないこともあり、市民の防災意識は低いと思う。防災訓練の際にハザードマップを各地区へ表示するなどの意識付けが必要であると思う。
 - ・自分の住んでいる地域のハザードマップにすぐにたどり着けるように、最新のものを市の HP ですぐに確認できるようにしてほしい。
 - ・中津川市は昔から治水分野に力を入れており、大きな災害被害を防いでいるが、市民にそれが伝わっていないと思うので、防災知識の啓発も行っていくと防災施策の効果が上がってくると思う。
- 防犯
 - ・防犯対策で防犯カメラの有効性を踏まえて、個人が設置しているカメラに補助を出せると良いと思う。商店街は国、市の補助を受けて、防犯カメラを設置することができたが、維持管理費用の補助はないので検討してほしい。

い。

○ごみ・し尿対策

- ・ごみ減量化について、中津川市は県下でも一人当たりのごみの排出量が多い。前期事業実施計画の目標は達成しているが、県下では未だに排出量が高い状況なので、今まで以上に高い目標の設定が必要だと思う。ごみ減量について市を挙げて取り組んでいる実感がない。
- ・ごみを分別すれば排出量は減るが、分別後のリサイクル等の処理を市が対応できるのか課題である。紙ごみを分別するだけでもかなり排出量は減ると思う。
- ・数カ月に一回、衣類を回収してくれる取り組みは定着している。
- ・市内企業ではごみ減量が経費の削減につながり、利益を生むという考え方で積極的に減量に取り組んでいるので紹介すべきだと思う。ごみを減らすことが市民生活の向上につながることを伝えていく必要があると思う。

活気あふれるまち中津川

○工業振興

- ・工業振興分野について、企業立地が進んでいることは良いと思うが、市内に働き手はいるのか。市内で働き手を探すのではなく、中津川市に就労に来てもらう仕組みを作る必要があると思う。就労に来てもらうための優遇措置を考え、働き手を確保していかなければ、産業の発展する機会を阻むことになるのではないか。
- ・芸術などの特定分野に特化した人材を集める施策を行えば、新しい市の魅力が生まれるのではないか。

○農業振興

- ・農地の集積については、高齢化により農地を手放ししたい人が増えていくので、集積が難しい。
- ・農地中間管理機構に地権者の負担なしで基盤整備ができる事業があるが、5ha以上の土地をまとめる必要がある。あまり活用されていない。中山間地域は投資効果が低いので難しい。
- ・高校や大学と連携して農地の活用ができると良いと思う。